

平成 25 年 7 月 5 日

遊佐町長 時田 博機 殿

遊佐町環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員 鈴木 たみ子

副主任監査員 遠藤 はる奈



独自目標監査報告書

LAS-E 独自目標の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査日時

平成 25 年 7 月 5 日（金） 13 : 00～14 : 30

2. 監査対象

遊佐町役場

3. LAS-E 監査内容

LAS-E 独自目標の平成 24 年度実績

第 1 ステージ No.12 (エコアクション)
No.23 (エコマネジメント)
No.30 (エコガバナンス)

4. 監査結果

部 門	平成 24 年度 独自目標		達成 状況	部門 評価	
エコアク ション 部門	1	庁舎及び公有施設における電気使用量 前年度比 1%	×	△	
	2	庁舎及び公有施設におけるガス使用量 前年度比 1%以上削減	○		
	3	庁舎及び公有施設における灯油使用量 前年度比 1%以上削減	×		
	4	庁舎及び公有施設における公用車燃費 前年度より向上	ガソリン車		×
			ディーゼル車		○
	5	庁舎における可燃ごみ排出量 前年度比 2%以上削減	○		
	6	庁舎及び公有施設における事務用紙使用量 前年度比 1%以上削減	×		
7	庁舎及び公有施設から排出される二酸化炭素排出量 前年度比 1%以上削減	×			
エコマネ ジメント 部門	8	環境に関する研修（部署別研修を含む） 年 2 回以上	○	○	
エコガバ ナンス 部門	9	環境に関する情報提供 広報・HP で年 12 回以上	○	○	

※ 達成状況：○＝達成、×＝未達成

※ 評価：○＝良好、△＝軽微だが改善すべき点あり、×＝勧告に値すべき点あり

5. 所見

平成 24 年度の独自目標について監査した結果、エコアクション部門は△、エコマネジメント部門およびエコガバナンス部門は○と評価しました。

エコアクションの視点に基づく目標のうち、電気使用量、灯油使用量、ガソリン車燃費、事務用紙使用量の目標が達成されませんでした。

事務局で電気・灯油の使用量と夏季と冬季の気温との相関について検討され、一昨年よりも残暑が厳しかったために夏季の電気使用量が増えてしまったことが示されました。灯油については、遊佐中学校で休止していた床暖房を使用したことが使用量増加の原因と考えられます。エネルギー使用量に関しては、例年になく厳しい節電が求められた平成 23 年度の反発から増加幅が大きくなることが危惧されましたが、その傾向は認められず、通常業務に戻った中でよく努力を続けていらっしゃると思います。

事務用紙使用量については昨年度比 46%増と大きく増えてしまいましたが、使用量そのものが増えたというより、発注元の違いが影響しているようです。むしろ、この項目は目標設定の意義を改めて考える必要があるのではないのでしょうか。町民に対する広報や、園児・児童生徒に対する教育用に使用する紙を削減しすぎるべきではありませんし、こうした用途と事務用に分けて把握することができないならば、意味のない目標になってしまいます。両面印刷や裏紙利用が徹底された上で今後どのように無駄を省いていくか、その手法とともに目標を検討していただきたいと思います。

上記の通り、達成できなかった事情も理解できるものではありませんが、目標設定に加わった施設も足並みをそろえて、本庁舎と同じようにデータ取得・分析を行い取り組みに反映するというマネジメントを確立してほしいとの期待を込めて、△の評価としました。

エコマネジメントの視点に基づく目標は、年 2 回の目標を超えて 3 回の研修が実施されました。前回の共通実施項目監査で◎と評価された取り組みを「優良事例集」にまとめて公開されたことも、大きな前進です。各職場でこの優良事例集を活かして研修を行っていただければ、優れた取り組みが水平展開される機会になるのではないかと思います。

エコガバナンスの視点に基づく目標についても、目標を大きく上回る数の記事が広報誌に掲載されました。環境係以外の部署によるものも含めると、さらに多くの情報が発信されていることとなります。記事の配置なども目立つようになり、広報誌を活用した情報発信が盛んにされていることが伝わってきます。これまでは広報誌やホームページなどの媒体を使った情報発信に力を入れてきましたが、職員が各テーマについて直接町民に説明する出前講座も、とても有効な方法だと思います。様々な機会に出前講座を実施することで、より深い情報を多くの一般町民に伝えることができます。出前講座をより積極的に活用してもらうための呼びかけも必要だと思います。

夏季の高温や激しい雨など、これまで異常気象だと思われていたものが常態化しつつあるように感じられます。一次産業に関わる町民が多い遊佐町では、気候変動の影響を身近に感じる人が多いと思います。現在取り組んでいるエコアクションプランの目標年次は平成 27 年度です。エコアクションプランの成果をきちんと検証した上で、気候変動の影響と変化していく社会経済の情勢を踏まえて次の目標を考えることを視野に入れて、今後の取り組みを進めていただきたいと思います。